



KALTURA

Kaltura

視聴分析データプッシュ方法

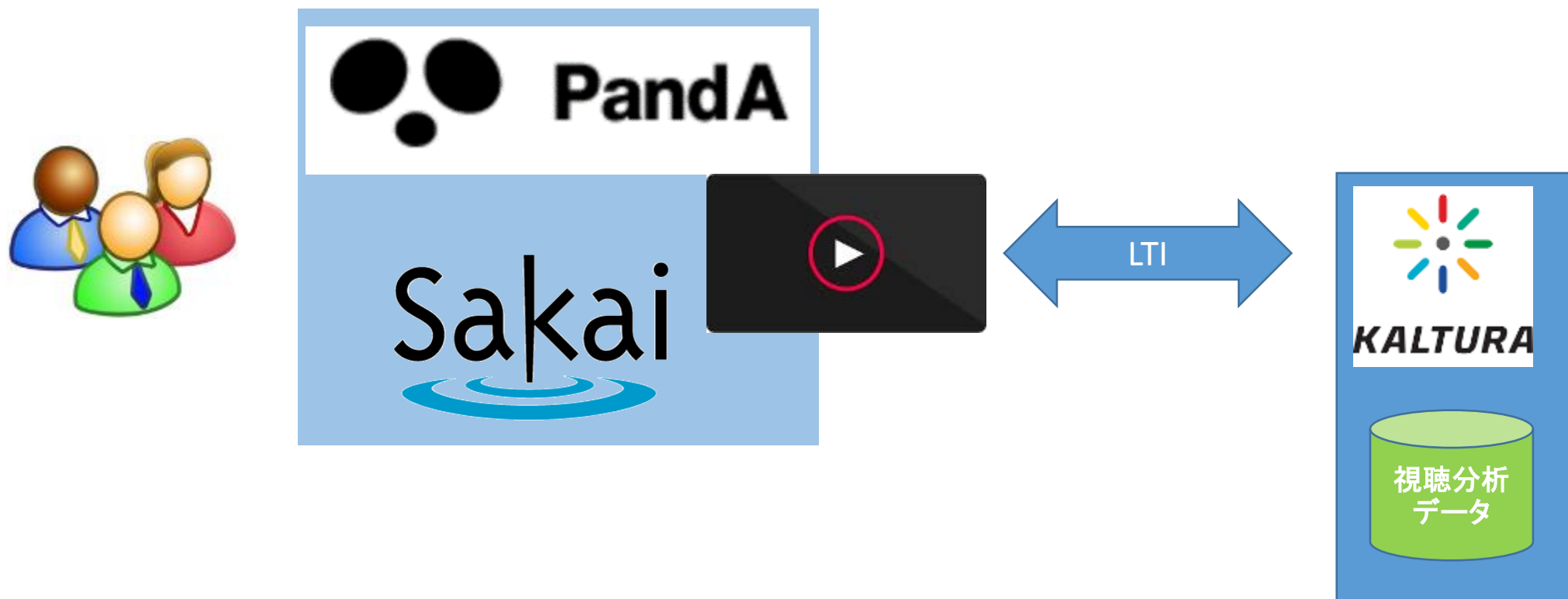
Kaltura

Norihisa Ando



京都大学様 現状の構成

- SAKAIとLTIで連動して、動画のアップロード、視聴、視聴分析が可能



視聴分析データの反映方法

- 視聴分析データの取得方法には大きく分けて下記の2方法があります。
 - 1) Kalturaのコンソールから視聴分析データの取得およびCSVファイルの外部出力
 - 2) APIを使って、視聴分析データを取得
- 最近では、視聴分析データをLRS (Learning Record Store)に動的にプッシュする方法が好まれてます。その方法には、下記の3つの方法があります。
 - 1) xAPI
 - 2) LTI-Caliper - LTIで認証され、データをLRSにプッシュする。
 - 3) CaliperのLRSへのプッシュをマニュアルで定義-LMSがCaliper対応していない場合の対処方法。Kalturaのバックエンドで設定可能。



Kaltura は上記3方法を提供しておりますが、現在のお客様は、まだxAPIでテストされており、Caliperの実際の活用は2018年以降に増加すると考えます。

現在、プッシュできるデータは、視聴分析のみですが、今後は動画クイズの正解率等の学習データもプッシュできるようにしていきます。

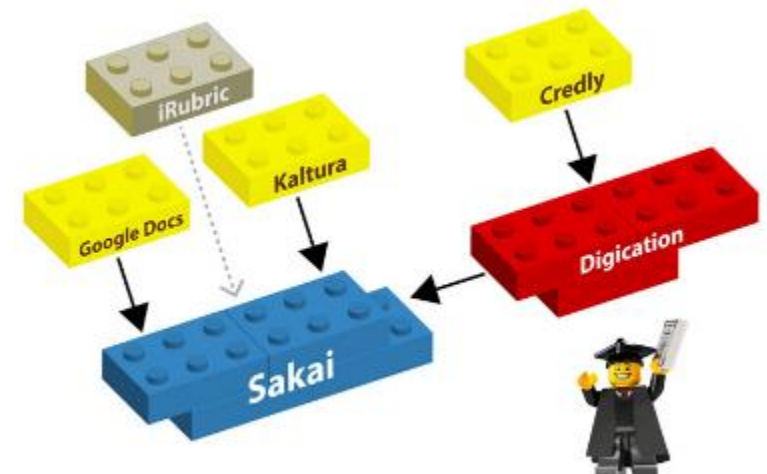
Case Study- SAKAI

- ノートルダム大学

- <https://er.educause.edu/articles/2017/7/under-the-hood-of-a-next-generation-digital-learning-environment-in-progress>.
- 現在は、xAPIを活用して視聴分析データをLRSにプッシュされてます。
- 次フェーズは、Caliper-LTIを活用して視聴データをLRSにプッシュする予定です。

- Halliburton

- 現在、xAPIでテスト中。
- プッシュするデータは、視聴分析データのみ。



まとめ

- Kaltura は、xAPI, Caliper-LTI, マニュアル設定で、視聴分析データをLRSにプッシュできます。(KAF SAKAI, Moodle, Blackboard, D2L, ,CANVAS)
- 現在、xAPI及びCaliper-LTIを活用して、LRSにプッシュできるデータは視聴分析データに限られますが、今後は動画クイズ等の学習データもプッシュする方向で機能を更新していきます。



KALTURA